

2020年度

自己点検・評価報告書(本編)

令和3（2021）年6月30日
国際人材開発株式会社
J C L I 日本語学校

報告書の見方

1. 点検・評価項目の設定は、出入国在留管理庁の「日本語教育機関の告示基準解釈指針」をベースにした。
2. 点検・評価項目にそれぞれ評価細目を設け、それらを個別評価(ABC)し、項目ごとに「達成状況」「課題・改善計画など」を記述した。
3. ABC評価の内容は次のとおりである。
 - A : 達成されている。
 - B : ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。
 - C : 達成に向けて努力している。

令和二(2020)年度 JCLI 日本語学校 自己点検・評価報告書

日本語教育機関名：JCLI 日本語学校	
点検・評価項目	評価
1. 理念・教育目標	
【教育理念】 個性を尊重し、心身ともに健康で明るく人間性豊かなグローバル社会で活躍できる優れた人材の育成を図り、夢の実現に導く 【教育目標】 ・学習を通じて、自分の人生の進路を切り拓く力を持つ人間の育成に努める ・自分自身と社会に責任を持ち日本語で自分を表現できる人を育む ・学生の学びと成長を支援する 【校訓】 ・まじめで誠実に努力する ・試練を乗り越え、自らを律する ・笑顔で元気な大きな声で自ら挨拶する ・異なる文化を相互尊重し他者と協調する	
1-1. 教育理念、教育目標及び育成する人物像が明確になっているか	A
1-2. それらの内容が社会のニーズに合致しているか	A
【達成状況】 達成できている。 【課題、改善計画など】 理念・教育目標は明確に定められており、各教室に掲示し、周知理解されている。またホームページでの公開はもとより、学生募集等で配布する学校パンフレットにも記載されており、ステークホルダーに周知されている。 一方、留学生を取り巻く社会変化やニーズは刻々変化しており、それに対応していくための不断のチェックが今後も必要である。	
2. 機関の管理運営	
2-1. 理念・目標に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	A
2-2. 組織運営が整備されているか	A
2-3. 学則・組織・人事・財務・学務に関する諸規程が整備されているか	B
2-4. 教職員の採用・定員管理・研修並びに評価は適切に行われているか	B

2-5. 情報共有は適切に行われているか	A
2-6. 意思決定システムは整備されているか	A
2-7. コンプライアンス体制が整備されているか	A
2-8. 危機管理体制（対学生は項目 5 参照）は整備されているか	B
【達成状況】 概ね達成できている。 【課題、改善計画など】 機関の管理運営に関しては「日本語教育機関の告示基準」に則り、適切に運営されているが、当初 2020 年度完成に向け準備を進めていた人事・学務・財務に関する諸規程は、コロナ禍での安全な学校運営を優先したため、完成に至らなかったが、新たに、運営会議の設置・各種会議の再編・JaLSA への加盟を行った。引き続き 2021 年度完成を目標に各課に協力を依頼する。	
3. 教育課程	
3-1. 教育理念に沿った教育課程編成方針が定められ、教育課程が体系的に編成されているか	A
3-2. 日本語教育機関の告示基準第六（教育課程）は守られているか	A
3-3. 教育課程改善のための取組は行われているか	A
3-4. 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	A
3-5. 明確な成績評価や進級、修了の判定基準が定められ、かつ、適正な運用がなされているか	A
3-6. 教員の指導力向上のための取組は行われているか	A
3-7. 教材について、著作権に配慮しているか（※6-3 参照）	B
3-8. 学生による授業評価は行われているか	A
【達成状況】 達成できている。 【課題、改善計画など】 カリキュラム改善のために、定期的に教務主任を中心とした使用教材に関わる会議が行われている。2020 年度では、新型コロナの影響によるオンライン授業への移行によって、カリキュラムや授業内容などは変更を余儀なくされたが、各レベルでスケジュールや指導内容を工夫し、オンライン授業といえども学力が下がらぬよう努めた。 また、教員の指導力向上のために、研修係を中心に学内研修や外部講師を招いての研修を行った。来年度以降も継続して行っていく予定である。 教材については、教科書を学生、指導教員分購入し配布しており、オンライン授業についても、電子教材を使用し著作権に配慮している。	

学生による授業評価は、今年度秋学期オンライン授業対象者にアンケートを実施し、オンライン授業担当者のもとで集約した。今後、対面授業を含む授業全体のアンケートに向け、2021年度、更にアンケート内容等の改善に向け作業を開始する。

4. 学修成果

4-1. 学生の日本語能力向上が図られているか

A

4-2. 学生の日本語能力は本校が定める到達目標・評価基準に達しているか

A

4-3. 学生の進路を適切に把握しているか

A

【達成状況】

達成できている。

【課題、改善計画など】

日本語力向上のために、レベル内で日々指導内容の改善やスケジュール管理を行っている。到達目標や評価基準がレベルによって統一されていないため、今後、評価の統一に向け教務部ミーティングで検討を行う。

学生の進路に関しては、教務部進学係が常に学生の進学状況を把握しており、適切にフォロー、指導を行っている。

5. 学生支援

5-1. 学習相談や進路支援及び在留資格に対する支援が整備されているか

A

5-2. 学生の在籍管理は十分機能しているか

A

5-3. 健康管理や日本での生活指導等の支援体制が整備されているか

A

5-4. 防災や緊急時における体制が整備されているか

A

【達成状況】

達成できている。

【課題、改善計画など】

学習相談については、随時授業担当講師が対応している。進路支援は選択クラス（大学院・大学・専門）及び中級Ⅰ、初中級ⅠⅡで授業内での相談に応じており、進学係を中心にガイダンスや各大学・専門学校の説明会の紹介などを行い、学生の意識が進学に向くよう努めている。

また在留資格に対する支援については、事務部入管チームでビザ期限の管理や在籍者数の管理をしており、進級・進学のビザ更新や資格変更に対する書類作成、チェックを行っている。同じく、事務部生活指導チームが出席率の低い学生の面談、学生自宅訪問を行い指導している。

健康管理は、年に一度健康診断を行っている。

防災については、年に一度防災訓練を行っており（2020年度は新型コロナの影響でビデオ視聴のみを実施）、講師学生ともに防災の意識向上を図っている。また、毎年、職員に対して年に一度普通救命講習を行っていたが、今年度は新型コロナウィルスの影響によって普通救命講習は中止を余儀なくされた。来年度は状況を見て開催予定である。

6. 教育環境	
6-1. 日本語教育機関としての施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	A
6-2. 教材は適切か	A
6-3. 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	B
6-4. 学習効果を図るための環境整備はなされているか	A
【達成状況】 概ね達成できている。 【課題、改善計画など】 保健室や図書室等、日本語教育機関の告示基準が定めている施設・設備は十分に整備されている。 教材は、毎学期教務主任を中心に会議を行い選定している。 補助教材、生教材の使用に関しては各講師に判断を委ねているのが現状であり、特別な取り決めは設けていない。今後は各講師に対し著作権の認識を深めていく必要がある。 また、自習室やリフレッシュルームなどを整備し、学生が学習に取り組みやすい雰囲気づくりに努めている。	
7. 入学者の募集	
7-1. 入学者の募集は、入学受入れ方針に基づき適切に行われているか	C
7-2. 入学志願者に本校の情報は正確に伝えられているか	A
7-3. 入学者選抜は適切に行われているか	A
7-4. 授業料等の納入金は適切か	A
【達成状況】 概ね達成している。 【課題、改善計画など】 2020年度は、新型コロナの影響で、従来実施していた「現地での選抜」ができなくなった。その代替措置として、オンラインによる「選抜」で入学者を決定し、加えて「プレメントテスト」も同時に行い、来日前に入学者のレベル判定を行った。 また、在留資格認定証明書（COE）は発行されたものの、入国ビザが下りず現地待機の学生が4, 7, 10月生合わせて約350人生じたが、当該学生の日本語学習意欲が高かったため、出入国在留管理庁東京出入国在留管理局の了解を得てオンラインで授業を配信することで正規の学生として入学を許可した。 新型コロナの影響がなくなった時点では（海外渡航が自由に許可されるようになった時点）、従来どおり担当社員が現地に赴き、面接・筆記試験を実施し入学者選抜を行う。その場合は、独自の合格ラインを設け、それに達しなかった者に関しては入学を許可せず、次回合格できるように継続的な学習をアドバイスするなどして、日本語教育機関の告示基準を遵守した入学者選抜を継続する。	

8. 財務	
8-1. 当該年度及び中長期的な財務計画は策定されているか	A
8-2. 中長期的な財務基盤は安定しているか	B
8-3. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
8-4. 財務情報の公表の体制はできているか	A
【達成状況】 達成できている。 【課題、改善計画など】 月次単位での予算管理を行い、四半期ごとに監査役による現金実査、棚卸資産の確認も実施しており、今後も公認会計士及び税理士と連携し、適切な会計処理を継続する。 本年は、コロナウイルス蔓延防止対策の影響を受けた入国制限のため、2020年4月生から日本に留学できる学生が激減した影響を受け、財政状況・財務基盤に関しては以前に比べ不安定であるが、雇用を確保するため、「雇用調整助成金」等の支給を申請し、安定を図った。	
9. 法令遵守	
9-1. 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守はなされているか	A
9-2. 個人情報保護の取組は適切か	A
【達成状況】 達成できている。 【課題、改善計画など】 日本語教育機関の告示基準に則った出入国管理が行われている。 個人情報保護規程に関する取り組みを職員は理解、実施している。各種マニュアル等も社内共有システムに掲載されており、常時閲覧可能で不明点は確認できる環境である。 2020年度（1月22日）、出入国在留管理庁東京出入国在留管理局から、管理運営・在籍管理・学生の生活指導状況等、学校運営全般にわたり実地調査を受け、全項目とも高評価を得た。	
10. 自己点検・評価	
10-1. 自己点検・評価は適切に実施されているか	A
10-2. 自己点検・評価に基づく改善には取り組んでいるか	A
10-3. 自己点検・評価結果は公表されているか	A
【達成状況】 達成できている。 【課題、改善計画など】	

本校では、過去2回自己点検・評価を行い、ホームページ上で報告書及びエビデンス集を公表している。

今回は、引き続き2020年度を点検評価対象に、評価項目を整理し、担当チーム（6名）で日本語教育機関の告示基準に則り、自己点検・評価作業を行い、報告書案を取りまとめた。その後、学務委員会、運営会議にて再点検評価を実施し、報告書を完成した。

自己点検・評価作業は毎年行うことはもちろん、今後は外部に委託した評価委員による点検評価を行うなど、改善に努めていく。

11. 地域貢献・社会貢献	
11-1. 本校の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A
11-2. 学生のボランティア活動への支援は行われているか	C
11-3. 公開講座等が行われているか	C
【達成状況】 達成できていない。 【課題、改善計画など】 2020年度は、目白大学から8名の学生を8月に約2週間、日本語教師教育実習生として受入れた。 また、2018年10月に新宿区から当地（北区）へ校舎移転後、地域に根差した社会貢献活動について、北区役所、王子警察署、王子消防署を始め近隣の方たちと意見交換を継続的に実施していたが、コロナの影響が長引き、学校の安全な運営に重きを置いた結果、各地域機関と十分に話し合う機会を持てなかった。例えば、河川の氾濫等、災害時の一時避難所とし校舎の提供や、近隣の区立・私立学校との文化交流、日本語を母語としない地域の子供への日本語教育指導等、2021年実施に向けた取り組みを新たに計画中である。	
12. 日本語教師養成講座	
12-1 教育の理念・目標	
12-1-1. 理念、教育目標及び校訓が教職員、受講生に周知されているか	A
12-2 管理運営	
12-2-1. 管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営がなされているか	A
12-2-2. 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	A
12-2-3. 意思決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能しているか	A
12-2-4. 設置者、設置代表者及び経営担当役員は「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められて要件に適合し、文化庁に届出および受理されているか	A
12-2-5. 校長、主任講師および講師は「日本語教育機関の運営に関する基準」で定める要件を備え、文化庁に届出および受理されているか	A

12-2-6. 校長、主任講師の権限や、専任講師および非常勤講師の役割の職務内容及び責任が明確に定められているか	B
12-2-7. 教育目標達成に必要な講師の知識、能力及び資質が明示されているか	B
12-2-8. 事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	B
12-2-9. 講師及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されているか	A
【達成状況】 概ね達成できている。 【課題・改善計画】 JCLI 日本語学校組織規程や養成講座担当者内での役割は分担されているが、養成講座に特化した明確な文書がないため 2020 年 12 月末の改正予定であったが、日本語教師養成講座は 2020 年度を以て一時閉講となったため、今後の検討課題としたい。	
12-3 教育課程	
12-3-1. 教育理念・目標に合致したコース設定が行われているか	A
12-3-2. 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進捗設計がなされているか	A
12-3-3. 教育内容及び教育方法について講師間で共通理解が得られているか	A
12-3-4. カリキュラムは、体系的に編成されているか	A
12-3-5. 教育目標に合致した教材が選定されているか	A
12-3-6. 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	A
12-3-7. 教員配置が適切になされているか	A
12-3-8. 修了の要件が定められ、文化庁に届出および受理されているか	A
12-3-9. 教育内容に応じて教育用機器を活用しているか	A
12-3-10. 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	A
12-3-11. 理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われているか	A
12-3-12. 受講内容、時間割、成績判定の基準と方法、受講上の留意点についての相談担当者が記載された文書を受講開始時に受講生に配布されているか	A
12-3-13. 受講生に対する評価体制、評価方法、評価基準が適切であるか	A
12-3-14. 成績判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されているか	A
12-3-15. 成績判定結果を的確に受講生に伝えているか	A

12-3-16. 成績判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか	A
12-3-17. 修了判定が適切に行われているか	A
12-3-18. 受講生による授業評価を定期的の実施しているか	C
12-3-19. 評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取り組みに反映されているか	C
【達成状況】 概ね達成できている。 【課題、改善計画】 成績判定基準は各科目講師がチェックし、每期マイナーチェンジをしているが、明文化されたものはない。また、受講生による正式なフィードバックの機会を設けていないので、ともに、2021年4月開講期の改正予定であったが、日本語教師養成講座は2020年度を以て一時閉講となったため、今後の検討課題としたい。	
12-4 研修・職員評価	
12-4-1. 講師及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取り組みをしているか	—
12-4-2. 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っているか	—
12-4-3. 講師及び職員の評価・指導を適切に行っているか	—
JCLI 日本語学校全体の評価と同一	
12-5 受講生支援	
12-5-1. 受講支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われているか	A
12-5-2. 特定の支援を必要とする受講生に対して、その分野の専門家の助言を受けているか	今までに該当者なし
12-5-3. 授業や運営に関する受講生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか	A
12-5-4. 受講生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか	A
12-5-5. 受講開始直後のオリエンテーションを実施しているか	A
12-5-6. 進路指導担当者が特定されているか	B
12-5-7. 受講生の希望する進路を把握しているか	A
12-5-8. 就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、受講生が閲覧できる状態にあるか	A

12-5-9. 受講終了前に進路指導を行っているか	A
12-5-10. 日本語教育能力検定試験の結果を把握しているか	A
12-5-11. 修了生の状況を把握するための取り組みを行っているか	A
12-5-12. 修了後の進路を把握しているか	A
12-5-13. 就職先の状況や修了生の社会的評価を把握しているか	B
【達成状況】 概ね達成できているが、以下の点について補足する。 受講生の支援計画は、進路相談を主として行っている。 進路指導担当者は決まっているが、明文化はされていない。 就職先の状況や修了生の社会的評価であるが、本校（JCLI 日本語学校）就職者については把握している。 【課題・改善計画】 明文化されていない事項について、2021 年 4 月期の改正予定であったが、日本語教師養成講座は 2020 年度を以て一時閉講となったため、今後の検討課題としたい。	
12-6 教育環境・施設	
12-6-1. 教育機関として適切な位置環境にあるか	A
12-6-2. 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されているか	A
12-6-3. 校舎面積は「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合し、文化庁に届出及び受理されているか	A
12-6-4. 教室、その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合し、文化庁に届出及び受理されているか	A
12-6-5. 教室内は十分な照度があり換気がなされているか	A
12-6-6. すべての教室は日本語教育養成研修を行うのに必要な遮音性が確保されているか	A
12-6-7. 授業時間外に自習できる部屋が確保されているか	A
12-6-8. 教育内容及び受講生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか	A
12-6-9. 視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器等が整備されているか	A
12-6-10. 講師および職員の執務に必要なスペースが確保されているか	A
12-6-11. 同時に授業を受ける受講生数に応じたトイレが設置されているか	A
12-6-12. 法令上必要な設備等が備えられているか	A

【達成状況】 達成されている。 【課題、改善計画】 日本語教育の教授法の流れによって必要な物があれば取り揃え、講座内で積極的に紹介・使用していきたい。	
12-7 危機管理、安全・衛生管理	
12-7-1. 危機管理体制が整備されているか	—
12-7-2. 廊下、階段等は緊急時に危険のない形状であるか	—
12-7-3. バリアフリー対策が施されているか	—
12-7-4. 健康、衛生面について指導する体制を整えているか	—
12-7-5. 重篤な疾病や障害のあった場合の対応を定めているか	—
12-7-6. 感染症発生時の措置を定めているか	—
12-7-7. 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めているか	—
12-7-8. 気象警報が発令されて場合の措置を定めているか	—
12-7-9. 災害等に対する避難訓練を定期的に行っているか	—
12-7-10. 防災用品が備蓄されているか	—
JCLI 日本語学校全体の評価と同一	
12-8 受講生の受入れ	
12-8-1. 受講生像を明示しているか	B
12-8-2. 理念・教育目標に沿った受講生の受入れ方針を定めているか	B
12-8-3. 募集定員を定めているか	A
12-8-4. 入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付時期が明示されているか	A
12-8-5. 納付金以外に入学後必要になる費用が明示されているか	A

【達成状況】 概ね達成できている。 【課題、改善計画】 受講生像及び理念・教育目標は、養成講座担当者内では共有ができていますが、明文化されたものはないので、2021年4月開講期の改正予定であったが、日本語教師養成講座は2020年度を以て一時閉講となったため、今後の検討課題としたい。	
12-9 財務	
12-9-1. 短期及び中長期の経営方針と経営目標が明確化され教職員に周知されているか	—
12-9-2. 財務状況は中長期的に安定しているか	—
12-9-3. 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか	—
12-9-4. 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確であるか	—
12-9-5. 適正な会計監査が実施されているか	—
JCLI 日本語学校全体の評価と同一	
12-10 法令遵守	
12-10-1. 法令遵守に関する担当者を特定しているか	A
12-10-2. 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っているか	A
12-10-3. 個人情報保護のための対策が取られているか	A
12-10-4. 関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っているか	A
12-10-5. 関係諸法令に基づいた学費返金規定が定められ、公開されているか	A
12-10-6. 外部からの情報提供が効率的になされ、かつ、共有化する仕組みがあるか	A
12-10-7. 内部からの情報発信が効率的に行われているか	A
12-10-8. 受講希望者・受講生及びその利害関係者の理解できる言語で情報提供を行っているか	A
12-10-9. 受講希望者に対して情報提供や受講相談を行っているか	A
【達成状況】 達成できている。 【課題・改善計画】 特になし	